

ARK



アスファルト防水 防水改修ガイド

アスファルトルーフィング工業会

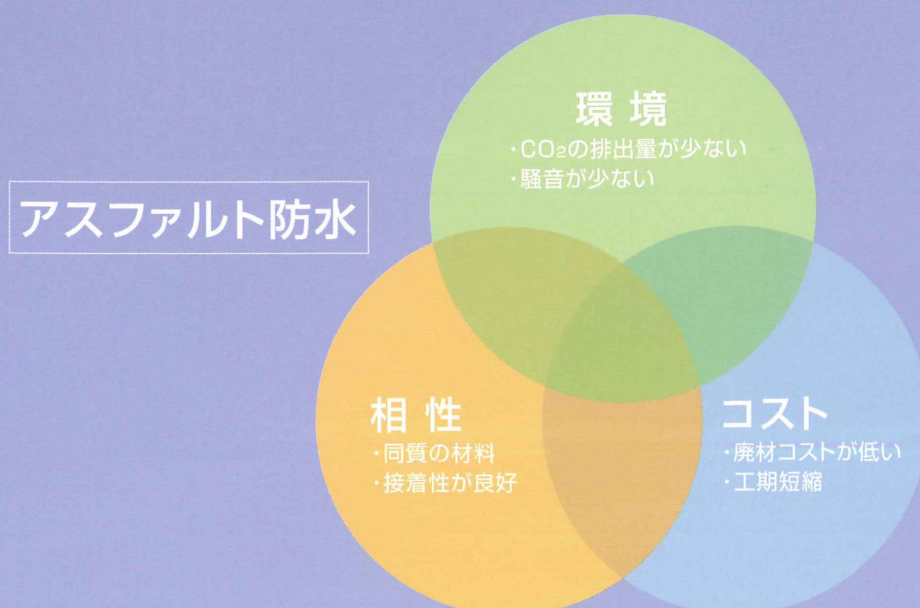
改修にも アスファルト防水を お奨めする理由

「本防水^{※1}」とも称されるアスファルト防水は、日本の建物の防水を担って100年を超えるものとなりました。信頼と実績に裏打ちされたアスファルト防水はさらなる工法の改良を行い、また次の100年に向かって走り始めています。

官公庁をはじめオフィスビルや商業施設、そして集合住宅等“アスファルトルーフィング”によって施工されている屋上防水が数多くあります。

改修工事をおこなう際には、既存防水層の撤去に付随して騒音・養生・工期の問題が発生します。このため同質の防水材料を用いた「かぶせ工法」により、工事を施工することがLCC^{※2}から見ても最適です。また、「かぶせ工法」は、建築廃材の発生を低減できるため、環境対応に大きなメリットがあり、CO₂の発生量低減にも繋がります。

ここに改修工法の概要について説明いたします。



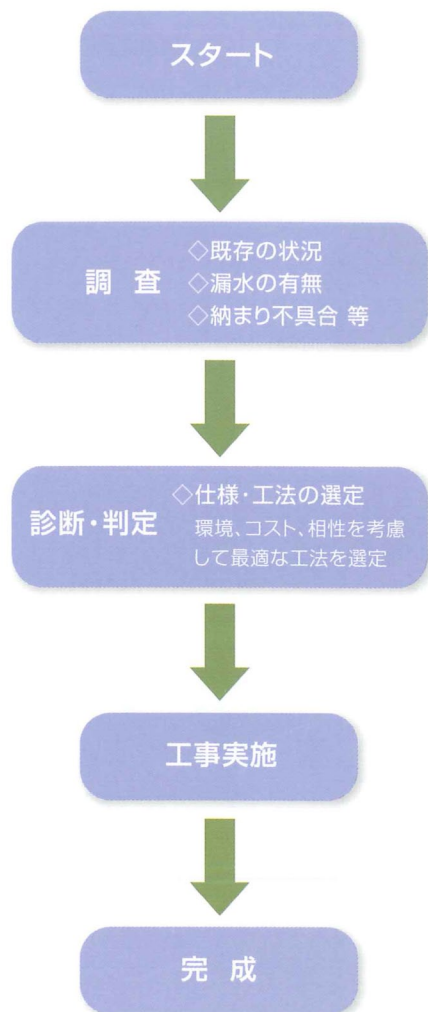
※1 本防水：実績が多く信頼性の高いアスファルト防水は本防水と呼ばれています。

※2 LCC（ライフサイクルコスト）：建築物の費用を調達・製造～使用～廃棄の段階をトータルとして捉えたもの。



改修工事のポイント

防水の改修工事は一般的には以下のように進みます。

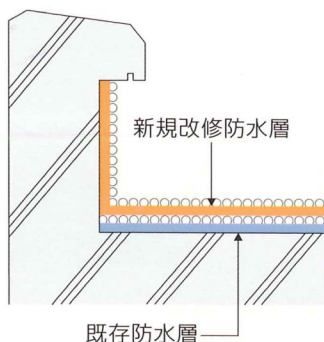


改修前



改修後

※ 改修工事のご依頼は専門業者にご相談ください。
専門業者が分からない場合にはアスファルトルーフィング工業会（ARK）にご連絡ください。



※ 既存防水層の立上り部は撤去します。

「かぶせ工法」とは

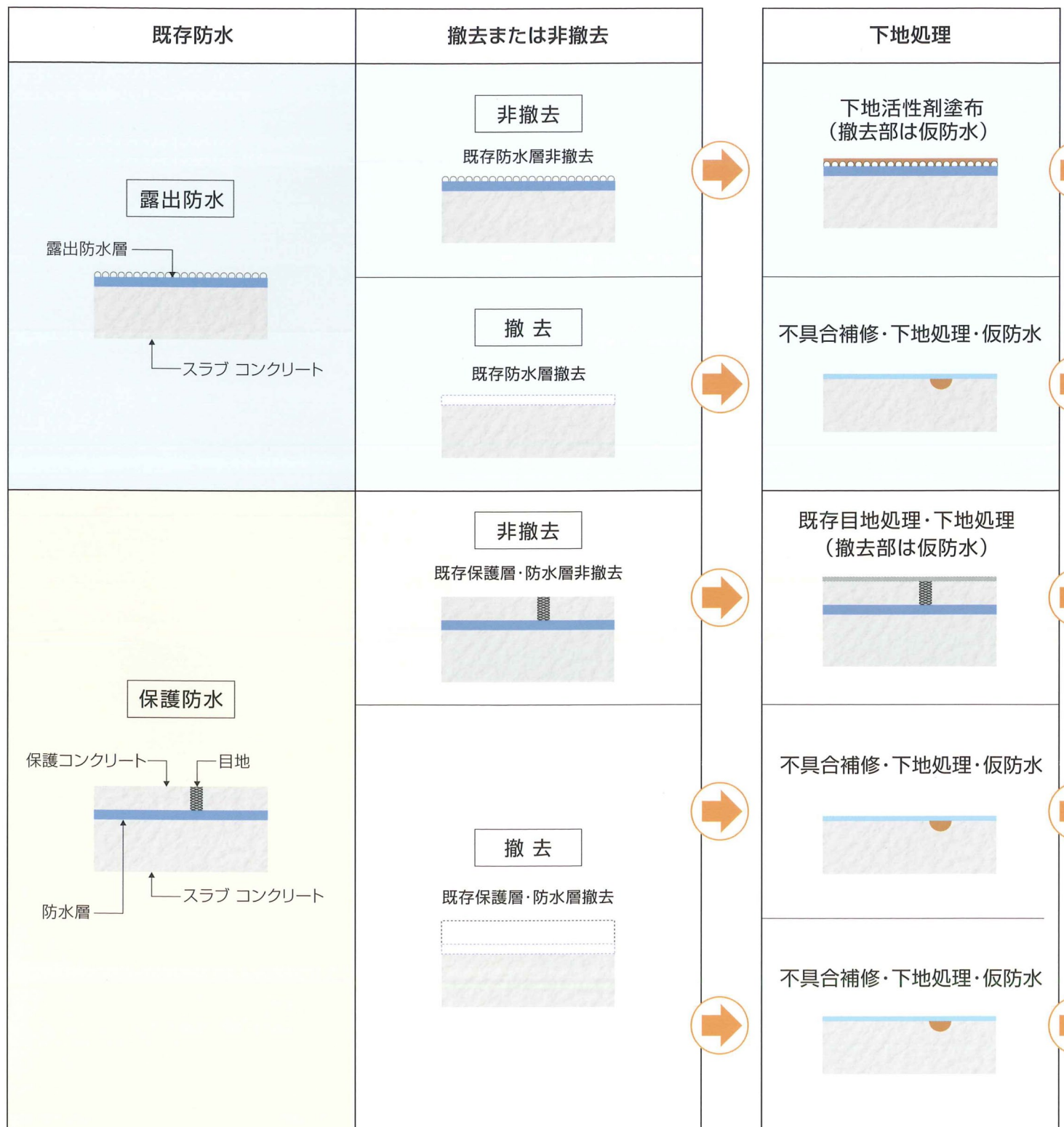
改修工事には既存防水層を撤去して新たな防水工事をする方式と、既存防水層の上に新たな防水層をかぶせる方式があります。

かぶせ工法のメリット

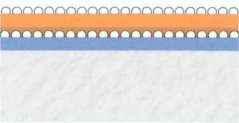
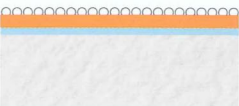
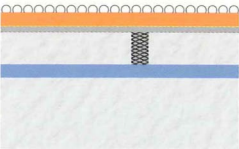
- 撤去による廃材発生量削減
- 既存防水層の機能を継続活用
- 施工中の漏水危険性小

既存防水層を撤去する方式には改修工事に付随して騒音・養生・工期の問題が発生するため、現在では様々な要素から、かぶせる方式がもっとも多く採用されています。

改修工法の概要





新規改修防水	特 長
新規露出防水施工 	撤去工事が軽減でき、既存防水層の性能も活用が可能となります。施工中の漏水発生を低減できます。
新規露出防水施工 	改修に際しては各種防水の選定が可能です。既存防水層の劣化が激しい場合に採用します。撤去中の漏水対策が重要です。
新規露出防水施工 	撤去工事が軽減でき、既存防水層の性能も活用が可能となります。施工中の漏水発生を低減できます。
新規保護防水施工 	新築時と同様な防水施工が可能となります。撤去中の漏水対策が重要です。
新規露出防水施工 	屋上荷重の軽減がはかれます。太陽光発電システムなどの新規設置が可能となります。撤去中の漏水対策が重要です。

改修に適した防水工法



常温（粘着）工法
煙も臭いも出さない工法。改質アスファルトだから耐久性も十分です。



常温（複合）工法
塗膜材を使用して改質アスファルトルーフィングを貼り付けます。



熱工法
従来からの工法で実績No1。防水の歴史はここから始まりました。

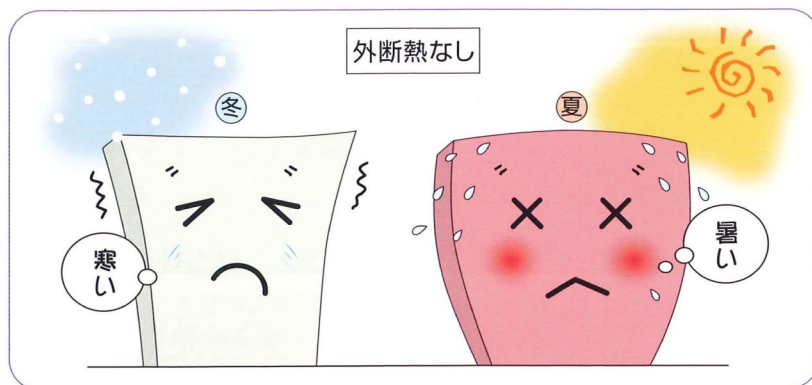
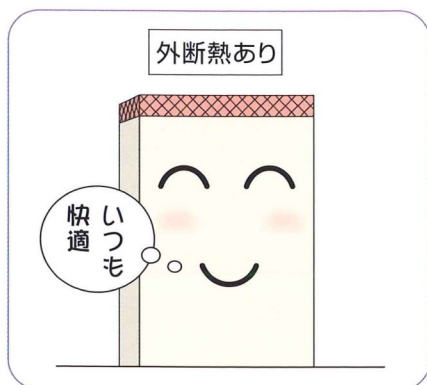


トーチ工法
溶融釜を使用しないので煙、臭いが格段に少ない、一歩進んだ防水です。

アスファルト防水なら、 改修工事も本格的な断熱防水が採用できます。

寒い冬、暑い夏も快適に過ごし、建物を保護し劣化を防ぐのが断熱材です。

防水改修と同時に外断熱を行うことで
快適な住環境の維持、建物の長寿命化など省エネを促進します。



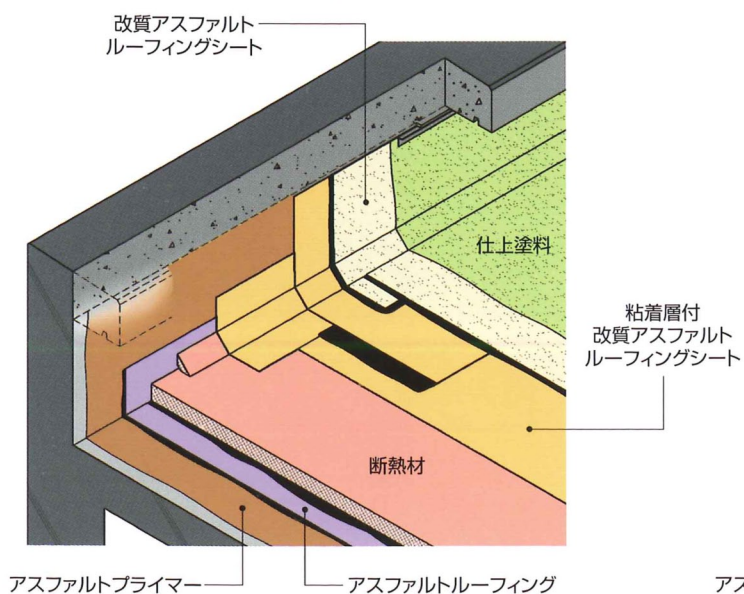
防水改修と同時に省エネ改修をお勧めします。

アスファルト防水で、既存の屋根の断熱効果を高めた環境省エネ改修を！

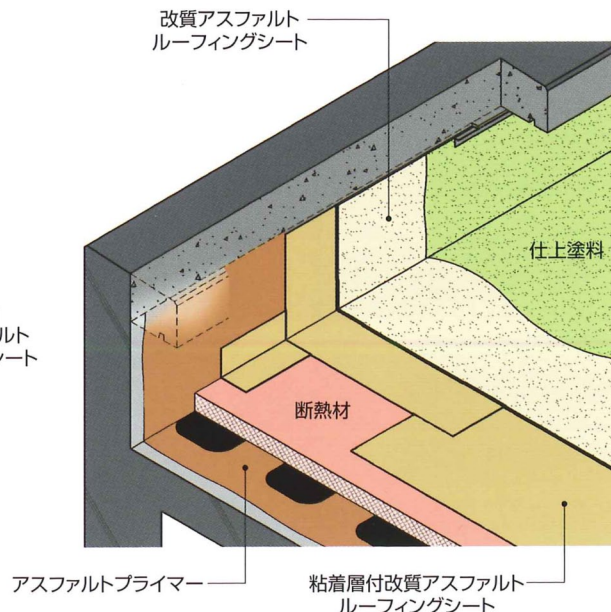
公共建築改修工事標準仕様書（平成22年版）

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修／財団法人 建築保全センター

DI-1



ASI-1





アスファルトルーフィング工業会概要

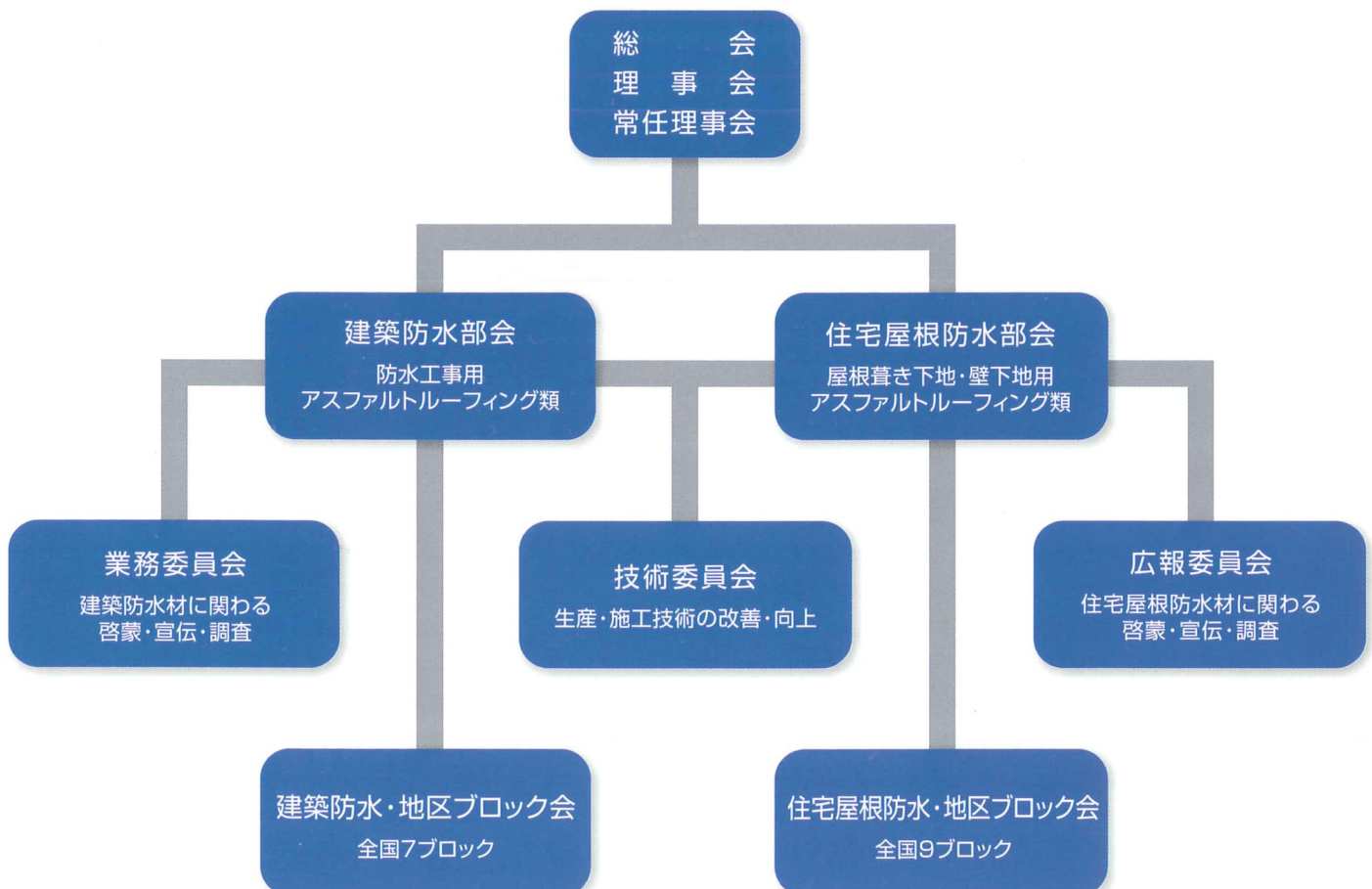
名 称 アスファルトルーフィング工業会（略称:ARK）

設 立 1964年（昭和39年）4月1日

事 業
 (1) 日本工業規格品の普及および推進
 (2) 製品の生産技術および施工技術の改善・向上
 (3) 製品の需給に関する調査
 (4) 製品の啓蒙・宣伝および技術研修
 (5) 関係官公庁および関係機関への対応

会 員 建築・土木のアスファルト防水関連材料メーカー

組 織





アスファルトルーフィング工業会

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9番2号 日新中央ビル3F

TEL.03-6661-9288 FAX.03-6661-9034

<http://www.ark-j.org>

アスファルトルーフィング工業会 正会員

ガムスター株式会社	〒596-0806 大阪府岸和田市まゆ町126	TEL.072-444-9021 FAX.072-443-3349
静岡瀝青工業株式会社	〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町4-8	TEL.054-273-2781 FAX.054-273-3140
昭石化工株式会社	〒135-8074 東京都港区台場2-3-2	TEL.03-5531-7063 FAX.03-5531-6811
常裕パルプ工業株式会社	〒799-0431 愛媛県四国中央市寒川町830	TEL.0896-23-3400 FAX.0896-23-3288
田島ルーフィング株式会社	〒101-8579 東京都千代田区岩本町3-11-13	TEL.03-5821-7711 FAX.03-3862-8539
田島応用化工株式会社	〒101-8579 東京都千代田区岩本町3-11-13	TEL.03-5821-7722 FAX.03-3863-7564
東和工業株式会社	〒174-0043 東京都板橋区坂下3-29-11	TEL.03-3968-2301 FAX.03-3966-1801
七王工業株式会社	〒765-0031 香川県善通寺市金蔵寺町180	TEL.0877-62-0951 FAX.0877-62-4927
日新工業株式会社	〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4	TEL.03-3882-2424 FAX.03-3881-8545
三島工業株式会社	〒799-0404 愛媛県四国中央市三島宮川1-8-25	TEL.0896-24-4420 FAX.0896-24-2615

アスファルトルーフィング工業会 賛助会員

株式会社ウメモトマテリアル	エムシー・エネルギー株式会社	カネカケンテック株式会社	コスモ石油販売株式会社
株式会社JSP	株式会社ジェイエック	ダウ化工株式会社	リーフエナジー株式会社